

スライド 1

LASBOS Moodle 講習会



1. 説明
2. 講習
3. 質問受付

2020年7月3日 12:30~13:00 **※資料訂正：2020/12/18**
バランスドオーシャン運用部職員 守田

 北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY 

お忙しい中、LASBOS Moodle講習会に参加いただきありがとうございます。
バランスドオーシャン運用部職員の守田と申します。

本日はLASBOS Moodleについて説明した後、講習を行い、残りの時間を質問受付時間としたいと思います。

直接の質問は会場にいらっしゃる方から受け付けます。


Zoomでご参加いただいている方はチャットに記載いただければ、講習会の後、お答えいたします。

ご了承ください。

LASBOS


(Learning and Study by Balance de Ocean System)

2020年7月現在、2つのサイトから教育コンテンツを発信しています
LASBOS YouTubeとLASBOS Moodleです
本日はLASBOS Moodleについて説明します




<https://www.youtube.com/channel/UCWo8lebtPw4Kibut-9Rea7w>

- ・世界中の人が閲覧しているYouTube
- ・広告なし
- ・運用部が動画をアップロード




<https://repun-app.fish.hokudai.ac.jp/>

- ・土台はELMS moodleと同じアプリを採用



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



現在バランスドオーシャン事業では LASBOS YouTubeとLASBOS Moodleの2つの教育システムを運用しております。

LASBOS YouTubeでは教員の方から提供いただいた動画を運用部で編集してアップロードしております。

(リンクにアクセス)

こちらのバランスドオーシャンというチャンネルを作成しておりますので、皆様是非、閲覧とチャンネル登録をよろしくお願いいたします。

(パワポに戻る)




本日はLASBOS Moodleについて簡単に説明、また操作の講習を行ってまいります。

(エンター)

moodleというと聞き覚えのある方もいらっしゃるかもしれません。

全学の教育システムであるELMSで利用しているアプリも、moodleだからです。

ELMS moodle と LASBOS Moodle の比較

共通点   

- 1) 世界中で教育システムとして採用されている moodle を使用
- 2) 教員がコンテンツを作成可能
- 3) カテゴリコース構造を持つ ※コースとELMSのグループは同等です。



カテゴリA

カテゴリB

コース1
・文章
・ファイル
・画像
・動画

コース2

コース3

 北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY 

ELMSのmoodleとLASBOS Moodleを簡単に比較してみましょう。

共通点を3つあげます。

まず1点目として、世界中で教育システムとして採用されているmoodleを使用しています。

2点目として、どちらも教員がコンテンツを作成していく仕組みです。

3点目として、ELMSではコースのことをグループと呼んでいますが、どちらもカテゴリコース構造を持っています。

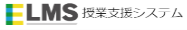

カテゴリコース構造というのはwindowsのフォルダとファイルのようなものです。

カテゴリによって階層を作ることができ、カテゴリの中にはコースが作成できます。

このコースの中に文章やファイルを配置していくことで、教育コンテンツを作成します。

ELMS moodle と LASBOS Moodle の比較

相違点

 ELMS 授業支援システム	
1) 学外者は閲覧不可 学内者もコースを自由には閲覧できない。	1) 学外者もログインなしで閲覧可能
2) コース（グループ）に学生を登録	2) コース（グループ）に学生を登録しない。
3) 学習の進捗管理、成績評価が可能	3) 学生の進捗管理や成績評価に関わる機能は利用しない。

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

次に、相違点を3つ挙げます。

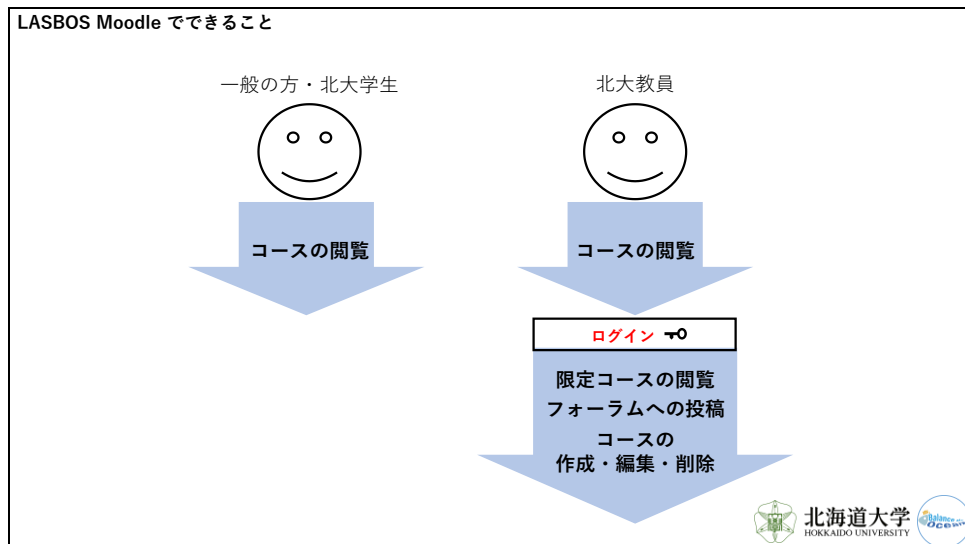
1点目として、ELMS moodleはSSOログインしなければ閲覧できないため、学外者は閲覧できません。

また、SSOログインしたとしても、コースに登録されていないため、ほとんどのコースを閲覧することができません。

一方、LASBOS Moodleでは学外者学内者を問わず、ログインせずにほとんどのコースを閲覧することができます。

2点目として、ELMS moodleではコースに学生を登録して利用していますが、LASBOS Moodleでは登録せずに利用します。

3点目として、ELMS moodleでは学生の進捗や成績評価を行えるようになっていましたが、LASBOS Moodleではそれらの機能の利用は、現在考慮していません。



LASBOS Moodleでできることを整理しましょう。

コースを閲覧することは、一般の方を含め学生や教員も可能です。

ただし、そのような設定をすることで、ログインした方のみ閲覧を許可するコースを作ることが可能です。

そのようなコースに関しては、運用部がIDとパスワードを発行した教員のみが閲覧することができます。

また、LASBOS Moodleではフォーラムと呼ばれる掲示板をコース内に作成することができます。

このフォーラムへの投稿もログイン後のみ可能となります。

最後に、ログインした教員の方ができることとして、コースの作成・編集・削除があります。

コースの作成・編集に関してはこの後に行う講習で実際にお見せしたいと思います。

スライド 6

サイトホーム

URL: <https://repun-app.fish.hokudai.ac.jp/>

・アクセスするとサイトホーム画面が表示されます。

「コース一覧」にはカテゴリに関係なく、作成されたコースが表示されます。

「コース」にはカテゴリ構成とコースが表示されます。

LASBOS Moodle のサイトホーム画面

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY

実際にサイトホーム画面を見てみましょう。

サイトホーム画面にはコース一覧が表示されています。

コース一覧ではカテゴリ構成は関係なく、作成されたコースが表示されています。

コースをクリックすることで、そのコースの内容を閲覧することができます。

実際にお見せしましょう。

(リンクからコースを閲覧)

また、コース一覧の下にはコースというセクションがあり、こちらにはカテゴリ構成が表示されています。

横の三角のマークを押すことでカテゴリの中身を見ていくことができます。

実際にお見せしましょう。

(リンクからカテゴリの中身をみる。)

スライド 7

教員がコースを作成する場所

- ・ログイン後、**ご自身の名前のついたカテゴリ内にコースを作成**してください

例) 北大 花子
カテゴリ：水産学部・水産科学研究院/北大 花子
コース：テストコース



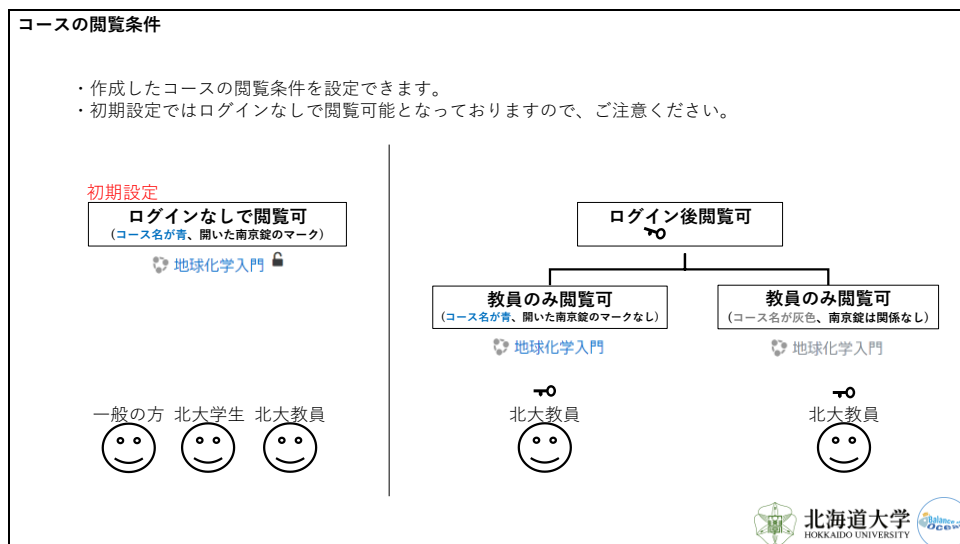
北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

本日参加いただいている方を含めて教員の方にはコースの作成をお願いしております。

コースを作成いただく場所をご自身のお名前のついたカテゴリ内となります。

ログイン後、であれば、コースを作成することができます。

例えば、水産学部の北大花子先生であれば、水産学部カテゴリ下の、北大花子カテゴリ内にコースを作成することができます。



先ほどお話したように、コースは一般の方にも閲覧できるようにすることを基本としておりますが、作成中等の理由、公開したくないコースがあるかもしれません。その場合はコースの閲覧条件を設定することができます。初期設定では一般の方でも閲覧できるようになっています。コースを作成するとコース名が青字で表示され、右上に開いた南京錠のマークが表示されます。ただし、この状態から設定することで、ログイン後の教員のみ閲覧可能にすることができます。設定の方法は本日の講習では紹介いたしませんので、マニュアルをご覧になるか、運用部までお問い合わせください。

講習内容	
サイトホーム	https://repun-app.fish.hokudai.ac.jp/
マニュアル	https://repun-app.fish.hokudai.ac.jp/course/view.php?id=62
著作権処理	https://repun-app.fish.hokudai.ac.jp/course/view.php?id=221
コースをみる (ログインなし)	コースをつくる (ログインあり)
■ アクセスとコースの閲覧	■ ログイン
・ コース一覧をみる	■ コースの作成
・ コースの検索	■ コースの編集
・ タグから選ぶ	・ 編集モードの開始
・ 進学先を考える	・ 文字、画像の配置
	・ ファイルの配置
	・ リンクの配置

 北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY 

それでは簡単ながら、使い方の講習会を行いたいと思います。

こちらのURLからLASBOS Moodleへのアクセスをお願いいたします。

内容としてはコースの閲覧の仕方と作成、編集の仕方となります。

また、本日の講習内容を含めた詳しい操作方法はこちらのコースをご覧ください。

(リンクにアクセス)

また、コース作成の際に使用するグラフや画像などの資料の著作権処理についてはこちらのコースをご覧ください。

(リンクにアクセス)

それでは、まず、ログインなしでも可能なコースの閲覧のしかたからご紹介いたします。

LASBOS moodleにアクセスします。

(リンクを踏んでサイトホームにアクセス)

まずはコース一覧をみてみましょう。

コースがずらっと並んでおり、コース名をクリックすることで内容を閲覧することができます。

調べたいことが頭のなかにある場合は、コースを検索ボックスから検索することができます。

例えば、「水産」で検索してみましょう。

すると、水産というワードがコース名に含まれるコースが検索でひっかかります。

検索結果に出てきたコース名をクリックするとそのコースの内容を見ることができます。

次に、タグからコースを絞ることができます。

例えば、タグを見ていて「ダルス」が気になった場合はそれをクリックすると、タグに「ダルス」が設定されているコースが表示されます。

表示されたコース名をクリックするとコースの内容を見ることができます。

また、進学先を考えると、教員のカテゴリを見られることも考えられます。

教員が一体何を研究しているのか、気軽に見ることができるので、学生に進学先をアドバイスする際に活用いただけると幸いです。

次に、ログインしてコースを作っていく方法をご紹介します。

ログインにはLASBOS Moodleへのユーザ登録が必要です。

現在は水産のメーリングリストに記載されている方とFSCの教員の方を登録しております。

ユーザ登録された方にはLASBOS MoodleからIDとパスワードが記載されたメールが届いたと思います。

そちらのIDとパスワードでログインしてください。

初回ログイン時はパスワードの変更が求められますので、適宜変更をお願いいたします。

ログイン後はまず、ご自分のカテゴリの下まで移動してください。

(ログイン)

このとき、このページをお気に入りに登録しておく、次回からのコース作成と編集の際にページを開くのが楽になります。

それでは、コースを作成していきます。

新しいコースを作成するをクリックしましょう。

長いコース名とコース省略名にコースの名前を入力します。

下の方に、保存して戻るボタンがありますので、それを押します。

すると、先ほど入力したコース名のコースができます。

これで、コースの作成は完了です。

次に作成したコースに内容を入れていくために、編集モードを開始します。

作成したコースを表示し、右上の歯車をクリックしてください。

そして、メニューから編集モードの開始を選びます。

鉛筆のマークや編集の文字が出てきて、編集モードが開始されました。

次に、文字や画像を配置してみます。

「活動またはリソースを追加する」をクリックし、ラベルを選択します。

文字の場合は直接打ち込むことができます。

画像の場合はドラッグ&ドロップでアップロードできます。

内容が決定したら、保存してコースに戻るをクリックしましょう。

コース内での見た目がよければこれで完了です。

つづいて、ファイルを配置します。

「活動またはリソースを追加する」をクリックし、今度はファイルを選択します。

名称欄にコースに表示したいファイル名を記載します。

次に、アップロードしたいファイルをドラッグ&ドロップし、保存してコースに戻るをクリックします。

コースに戻ったら、ファイルをクリックしてみて、動作を確かめます。

クリック時の動作は編集→設定を編集する→アピランスより変更できます。

最後にリンクの配置の仕方についてです。

「活動またはリソースを追加する」をクリックし、URLを選択します。

名称欄にリンクの名前を、外部URL欄にリンク先のURLを記入します。

外部URLとなっていますが、moodle内を指すURLでも構いません。

記入できたら、保存してコースに戻るをクリックします。

コースにもどったら、リンクをクリックしてみて、動作を確かめます。

動作は編集→設定を編集する→アピランスより変更できます。

このリンクを使うことで、コース単位で教材を共有することができるようになります。

例えば、「ウナギの人工種苗生産」のコースは「ウナギの生活史」にリンクしています。

このように、分野内はもちろん、多分野にわたってリンクを重ねていくことで、分野横断型のシステムとなることを期待しています。

講習内容

マニュアル <https://repun-app.fish.hokudai.ac.jp/course/view.php?id=62>

ログイン → コース作成 → コース編集

The image contains two browser window screenshots side-by-side. The left screenshot shows a Moodle login page with a red box around the text 'あなたはログインしていません。(ログイン)'. The right screenshot shows a Moodle course page with a red box around a gear icon in the top right corner. Above the screenshots, a flow diagram shows 'ログイン' (Login) with an arrow pointing to 'コース作成' (Course Creation), which in turn has an arrow pointing to 'コース編集' (Course Editing).

最後に、Moodleは概ね直観的に操作できるように設計されていますが、ログインとコース編集モードの開始だけ少しわかりにくいので、もう一度お伝えいたします。

ログインは画面の右上、編集モードの開始はコースの画面を開いた右上の歯車からとなります。

moodle内のコースを閲覧いただけるだけでも大変うれしいことですが、できればコースの作成もよろしくお願いいたします。

以上で講習を終わります。

会場にいらっしゃる方で質問がある方は挙手をお願いいたします。

Zoomの方はチャットへの記載をお願いいたします。